

まほろば
漆

Produced by Midorigaoka Art Museum

山本
哲
口

Satoshi Yamamoto

漆
壺
展



「螺鈿の煌めきに魅せられて」

2022年9月18日④～12月25日④まで

[開館日] 水・木・土・日曜日 11:00～16:00 (入館は15:30まで) ●入場無料

[休館日] 月・火・金曜日

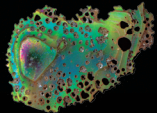
[会 場] 緑ヶ丘美術館・別館 → 〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 1426-38

[U R L] <http://mam-museum.com> 〈お問い合わせはFAXで：FAX. 0743-85-7879〉

MAM-ANNEX

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館・別館



それは、「光」の発色現象が生んだ魔法の煌めき。
心象は、漆と出逢い、神々と対話する。

《螺鈿》・らでん・

漆工芸家の山本哲は、「螺鈿の煌めきに魅せられて」この世界に入ったという。
その作風は幾何的であり、有機的。繊細な感性で切り出した四季の「うつろい」には、日本人の美しい心の風景と表情が磨き出されている。
そして、切り抜かれた真珠層の輝きは、観るものに語りかけてくる。
まさしく神々との対話の瞬間。
本展は、奈良漆器・伝統の伝承者として、常に新しい表現を試みる山本哲の多様な作品を披露いたします。
日本人の記憶、心の風景を存分にご鑑賞くださいませ。

「螺鈿の煌めきに魅せられて」

山本哲

Satoshi Yamamoto

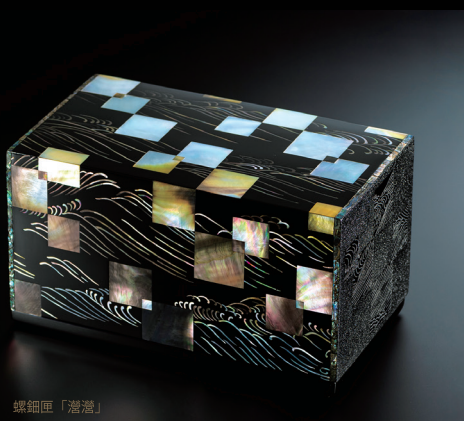
漆芸展



螺鈿漆匣「つゆのひめま」



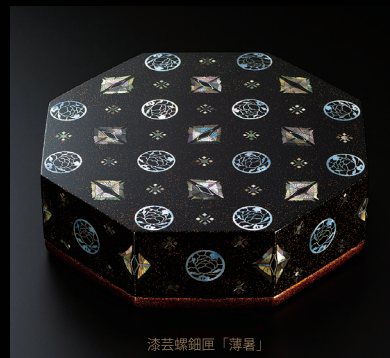
螺鈿漆匣「律の調べ」



螺鈿匣「潜潜」



彩切貝漆匣「やがて寂しき」



漆芸螺鈿匣「薄暮」

●山本 哲（やまもと さとし）《作歴》

- 1955 年 奈良県生駒市に生まれる
- 1978 年 奈良の塗師 樽井喜之（号 禧醉）氏に師事
- 1981 年 第10回日本工芸会近畿支部展 入選 松下賞 受賞（以後も入選・受賞）
- 1990 年 第7回日本伝統漆芸展 入選（以後も入選）
第37回日本伝統工芸展 入選（以後も入選）
- 1995 年 春日大社第五九次式年造替、御神宝制作
- 1996 年 淡交ビエンナーレ・茶道美術公募展 入選
- 2002 年 業師寺大講堂、内陣荘厳具漆塗に従事（～2003年）
- 2004 年 京都迎賓館主賓室、調度品制作に従事（～2005年）
- 2005 年 第34回日本伝統工芸近畿展 近畿賞 受賞
- 2008 年 第26回日本伝統漆芸展 林原共済会備中漆賞 受賞
- 2010 年 大徳寺龍光院 燈台一対制作
作品が奈良県知事より現 天皇陛下に献上される
「螺鈿燦々展」（日本橋三越本店・美術画廊）（以後2019年）
- 2015 年 特別展「野」—歌会始 御題によせて— 伊勢・神宮美術館
- 2018 年 赤膚焼・奈良一刀彫・奈良漆器—悠久の美と技展（奈良県立美術館）
第2回「奈良工芸の粋」展 名勝依水園・寧楽美術館（以後毎年開催）
- 2020 年 第49回日本伝統工芸近畿展 奈良県知事賞 受賞
- 2021 年 オランダ・日本博物館シーボルトハウスにて「細緻の美」：20世紀漆芸展
- 現在 日本工芸会正会員・漆工史学会・文化財漆協会 / 各会員



黒螺鈿茶筒「聚」

MAM-ANNEX

Midorigaoka Art Museum

緑ヶ丘美術館・別館

〒630-0262 奈良県生駒市緑ヶ丘 1426-38
URL: <http://mam-museum.com> FAX. 0743-85-7879